

LOM スローガン

UNITE ! & ACTION !

～志高く、郷土に感謝し、誰かのためにできることを行動する～

【はじめに】

1968年10月9日の設立より数々の軌跡を歩んできた栃尾青年会議所(以下栃尾JC)。
古より多くの偉大な先人たちを育んだ郷土栃尾において設立より数々の事業を構築し、郷土の為、地域住民のために、JC運動を継続してきました。
この運動の根本となったのは栃尾地域に住む青年たちが抱いた想いである、「明るい豊かな社会の実現」にほかなりません。この想いは、設立以来多くの先輩諸氏の皆様の尽力により新陳代謝を繰り返し、今日まで継承されてきました。

形あるものは常に移ろい変化する無常の世において、栃尾の自然が織りなす四季の彩と豊かな景観は、変化していくからこそ人々を魅了します。それと同様に栃尾の町並みや、地域に住まう人々の心も多種多様な情報化社会の中で、留まることなく変化し、変化しているからこそ、人々は成長します。

2022年、私たち栃尾JCは設立より54年目を迎えます。メンバーが切磋琢磨する中で結束し共に成長し、志高く、郷土に感謝し、誰かのためにできることを考え、行動することを止めてはならないと考えます。

【Paradigm shift～劇的に変化する時代に～】

世界中におけるパンデミックにより、多くの人々が困難を強いられ、当たり前だった私たちの日常における生活様式が激変しました。地域や会社、学校、部活動、私たちの生活で考えられる様々なシチュエーションにおいてコミュニティの形が変化し、特に、人とのつながりは「オフライン」からリモート型の「オンライン」へと形を変え、画面上の対話が定着しつつあるのと同時に、私たちの生活のあらゆる分野でオンラインによるスマート化が進んでいます。コロナ渦に限らず、毎年のようにどこかで起こり得る自然災害や私たちを取り巻く混沌とした社会情勢。これらは決して今に始まったわけではなく、先人たちの時代にも同様に多くの困難があったことでしょう。しかし、それらと向き合い、変化に対応し、共存する社会を築いてこられたと拝察します。

私たち栃尾JCは、劇的に変化する時代において、地域に根差す一団体として、地域のために今何ができるのかを考え、行動することが重要です。

36 栃尾 JC の歩んできた軌跡を振り返りますと、地域に住まう青年たちの学びの場としての運
37 動、地域の未来を担う子供たちを対象とした育成事業、青少年世代の抱く夢を描く一助とな
38 ることを目的とした職業体験事業等、先輩諸氏の皆様の尽力により多くの事業を構築し、そ
39 の時代に合った形で歩んできました。
40 今年度もメンバーそれぞれが青年の目線で時代に合った新たな切り口で物事を見つめ、学
41 びを深め、より人間力を高める学び舎と捉え、共に JC 運動を邁進します。

42
43 【運動をもう一步踏み込んで発信することが、新たな会員拡大への一步へ繋がる】

44 栃尾 JC を広く知ってもらうため、新たに昨年度より YouTube 動画配信による城山チャ
45 ンネルを立ち上げました。本年度も HP や SNS 等に加え、城山チャンネルを継続し、一步
46 踏み込んだ形で情報を発信することで、斬新な発想が生まれ、更なる運動の周知と、新たな
47 会員拡大への一步へ繋がると考えます。魅力ある事業を実施する為には、会員拡大は喫緊の
48 最重要課題として、捉えていく必要があります。

49 JC 運動においては常として新陳代謝を繰り返すことが、より成長に繋がり、組織を継続す
50 る上での特徴の一つであると考えます。然し乍ら思いとは裏腹に現役会員数は毎年減少傾
51 向にあります。「待ったなしの会員拡大」それぞれがこれを自覚し、会員拡大に繋げるには
52 どうするのかをそれぞれが考え、拡大意識の醸成と、実際に自分たちが動かなければなら
53 変わりません。

54 本年度栃尾 JC は 11 名でのスタートとなります。少数 LOM だからこそその強みはあると
55 私は確信しています。組織の形態や問題点に目を向け、地域において運動する栃尾 JC とし
56 て今何ができるのか、何をやるべきなのか。メンバー一丸となって考え、まず出来ることか
57 ら取り組んでまいります。

58
59 【UNITE ! & ACTION ! ～おかげ様の心で結束し、成長し、ひとつになろう～】

60 私たちは栃尾地域で生業を営むなかで、縁あってめぐり逢い、背負っているものや価値観
61 の違うなかで、互いを切磋琢磨しあう同志です。あつとゆう間に過ぎ行く現役として過ごす
62 限りある時間。私たちはその「あつ」の中で、何ができるのでしょうか。

63 「地域のために」、「自分自身の修練のために」、答えはそれぞれだと思います。私は、「人
64 との出逢いは生涯の宝であり、JC 運動は何にも変えられない唯一無二の経験である」と捉
65 えています。そしてこれらを支えてくれているのは、背中を押してくれる事業所、家族、愛
66 すべき大切な存在、そして同志の存在のおかげ様であり、私たち栃尾 JC の原動力であるこ
67 とを忘れてはなりません。

68 本年度 LOM スローガンとして「UNITE ! & ACTION ! 」＝「結束して歩もう」を、今
69 年度の運動の柱とさせていただきます。

70 同じビジョンを共有し結束するには、個が集まる団体の中で時には自我を抑え、それぞれが
71 協調し、相手を思い尊重する利他の精神をなくして成立しないと考えます。

日本には、古来より和合の文化を重んじてきた歴史があります。
「和を以て貴しと為す」仏教に深く帰依され、和合と協調の精神を重んじ、議論をすること
の重要性を示された聖徳太子の言葉です。一人の視点では生まれない新たな智慧が各会議
を重ねることにより生まれ、更なる事業の構築と組織の向上へと繋がります。
この精神を JC 運動する中で今一度学び、利他の精神で結束し、歩んでいきましょう。

【結びに】

栃尾 JC の伝統を受け継ぐことは、多くの先輩諸氏の皆様が紡いで来られた想いの継承で
あり、新たな歴史のページを刻むのも、私たち自身の想いです。
私が大切にしている言葉で、大衆威神力という禅語があります。捉え方は様々あると思いま
すが、「一人では成し遂げることは困難だが、同じ志を持った同志がいれば成し遂げられる」
という意味があります。JC 運動においても、同様であると考えます。メンバーそれぞれが
持つ個の力を存分に発揮し、それらが結束することで、大きな威神力となります。どんな結
果があろうと共に歩み、共に成長し、栃尾 JC の新たな歴史を刻みましょう。

先人たちが歩んできた郷土栃尾のために。

私たちが暮らす、愛すべき栃尾のために。

志高く、郷土へ感謝し、誰かのためにできることを行動する。

【活動方針】

- 一、郷土の為、地域住民の為に、運動をする
- 一、会員拡大は最重要課題として志を持って積極的に行う(目標拡大人数6名以上)
- 一、個々の更なる資質の向上と、時代に合った事業の構築
- 一、メンバーが結束し、先を見据えた組織の構築を図る